

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
① 気力と感動のある教育活動を実践する。	B	生徒指導を基盤に学業指導の充実を図るため、校務分掌上のリーダーとの打ち合わせや振り返りを行い、対応策を講じた。学校行事をとおして生徒が主体的に取り組む意識や規範意識を向上させた。	保護者、地域の情報を広く収集し、町教育委員会と連携をとりながら、学力向上対策を進めていく。また、学校評価に基づいて、組織的対応の充実を図る。	学力向上のために、先生が一丸になって学習指導をしてほしい。授業参観や学校行事に保護者が多く集まるよう工夫してほしい。
2 学力向上のため学業指導の充実に努める。	B			
3 「あいさつ日本一」推進と規範意識の向上を目指す。	B			
II 保護者や地域との連携に努める				
① <u>HIPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。</u>	B	学校だよりや学年だより、学校ホームページ等でより地域の発進力を高める一方、ワークショップ型の懇談会を実施し本校の課題や改善点について話し合いを行い、コミュニケーションの場を広めた。	思春期の特徴を理解し、子育てについて、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等との連携を深めて、話し合いの場を重ねる。	学校ホームページやメール配信を使って学校の情報を広く発信してほしい。体育祭や松が峰祭には多くの人が見に来ていたので、今後も努力を望む。
2 地域人材・資源の活用を図り、連携協働して活動の充実に当たる。	B			
III 確かな学力の育成に努める。				
① ねらいを明確化と振り返りの実践をとおして学習意欲の向上を図る。	B	ねらいの明示、アクティブ・ラーニングによる課題解決、振り返りの授業型を定着させたが、さらに探求的な学習の展開に力を注ぐ。	デジタル教科書やICT機器を効果的に使う学習活動を積み上げ、教職員の資質能力向上に努める。数学の統一テストを実施し基礎力の向上を図った。	学習する雰囲気高めるよう地道な指導や支援を期待する。授業参観では参観者も静粛になるよう工夫してほしい。
2 デジタル教科書やICT機器を活用し、指導方法を工夫する。	C			
IV 豊かな心の醸成に努める				
① 生徒会活動をとおして仲間への気遣いや実践力を養う。	A	道徳の一斉授業や人権標語作成、生徒会によるいじめ防止キャンペーン等をとおして、仲間の気遣いや思いやりの気持ちの醸成に努めた。人間関係のとまどいや悩みへの相談を継続中である。	場に応じた言動がとれるよう生徒指導体制を整え、組織的に対応してきた。それを踏まえ、個別に対応する支援や助言を的確に実践するため、ケース検討を校内研修で行う。	学校が落ち着きを取り戻しつつある。不登校傾向にある生徒への支援を外部機関と連携しながら進めてほしい。
2 チームでの指導を基本に、信頼感や豊かな心を養う。	B			
V 健やかな体の育成に努める。				
① 保健授業や食に関する指導をとおして、健康に生活する態度を育てる。	B	学級・教科担任が養護教諭、栄養教諭とのTT授業を行い、健康の大切さや食事の意義を教えて健康に生活する態度を育てた。体育の授業、朝のトレーニング、部活動で体力向上や心身の成長を図るようにした。	目標に向かって努力する生徒と途中で諦めてしまう生徒が混在している。易きに流れる面に打ち克ち、互いに高め合う集団づくりのために、繰り返し指導する。	部活動の再編については地域や保護者と連携してほしい。運動と学習は結びついているので、生徒の特徴を生かして、両立させてほしい。
2 目標に向かって粘り強く部活動に取り組む生徒を育てる。	B			